

## ウォーターベストと水封式トラップとの併用について

### 1. ダブルトラップ

通常、排水設備に於いて水封式ダブルトラップは禁止されています。

これは、水封式トラップが、同一配管内で二重にあると排水時にトラップ間（図1①）の空気が閉じこめられ、大きな圧力変動を起し、排水の流れに支障を来すおそれがあるためです。

更に、封水破壊現象を引き起こす原因ともなり、禁止されています。

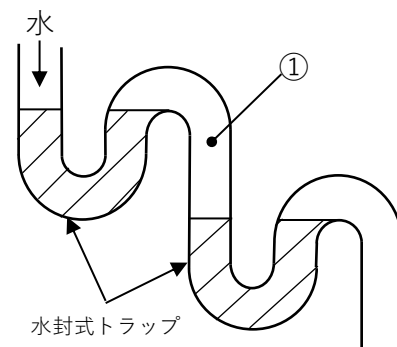


図 1

### 2. 水封式トラップとウォーターベストの併用

#### ・ウォーターベストが下流の場合

ウォーターベストは弁トラップのため大気圧下では封水を持ちません。

水封式トラップが上流でウォーターベストを下流に併用した場合には、水封式トラップとウォーターベスト間（図2②）に上記のような圧力変動をおこすことはなく、ダンパは開閉するため、ダブルトラップにはなりません。

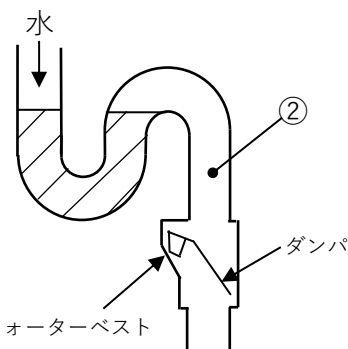


図 2

#### ・ウォーターベストが上流の場合

同一配管内に於いて、ウォーターベストが上流にあり、下流に水封式トラップがある場合には、ウォーターベストと水封式トラップ間（図3③）の空気の逃げが取れずダブルトラップ現象が発生する事が有りますので、ウォーターベストと水封式トラップの配管途中部分（図3③）に通気を取って下さい。

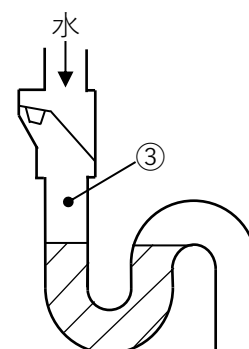


図 3

### 3. ウォーターベストの二重使用

ウォーターベストが、同一配管内で二重にあって、上流ウォーターベストの一次側（図4④）がマイナス圧の場合には一次側に封水がたまります。

流入する水が増すと水の自重によってダンパが開いて、水が二次側に排出されます。

上流ウォーターベストと下流ウォーターベストの間（図4⑤）は、上流ウォーターベスト一次側の圧力の影響を受けずに常に大気圧が保たれて、下流ウォーターベストのダンパは開閉するためダブルトラップにはなりません。

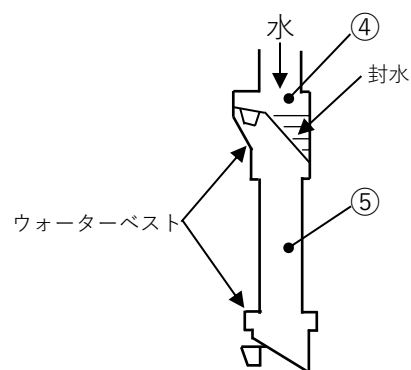


図 4